

公益社団法人 全国病院理学療法協会

広 報

令和6年12月10日 第251号

目 次

令和6年度 第2回理事会 議事録(抄).....	1
令和6年度 事業中間報告.....	7
広報の発行方法について.....	9
令和7年度 基本姿勢.....	10
令和7年度 予算概要.....	11
諸会議及び役員渉外行動報告.....	12
本部発信文書一覧.....	13
協会ホームページの更新履歴一覧.....	16
代議員旅費規程の改正.....	17
日本理学療法学会規程の改正.....	17
第72回 日本理学療法学会 終了報告・収支決算報告.....	18
第73回 日本理学療法学会 開催案内.....	19
「広報PDFファイル」支部別受信者集計表.....	20
令和6年度 協会主要会議及び年度末業務予定表.....	21

令和6年度 第2回理事会 議事録(抄)

日時 令和6年11月10日(日) 11:10~13:25

場所 協会事務所・他

出席者 <オンライン会議>

理事 平野五十男(会長)

小川 嗣人(副会長・学術局長)

青柳 利之(副会長・事務局長・保険局長)

小路口 憲(広報局長・理療編集出版部長)

丹羽つとむ(組織局長)

野山 隆司(情報管理局長)

寒河江健一(広報局次長・特殊出版部長)

坂原 博昭(学術局次長)

監事 中川 保・大内田 義己

公益社団法人管理部長 杉浦 幹雄

クラウドシステム管理部長 佐藤 功

委任状 三浦 政則(財務局長)

開会に先立ち青柳副会長より、出席者数および理事会成立の確認(定款34条定足数)が報告され、併せて司会進行並びに報告事項は青柳副会長が、議案は平野会長が議長を務めること、採決に際しては、三浦政則理事(財務局長)から平野会長へ議決権が委任されたこと、録音は野山、書記は小路口が担当することが告げられ、事業及び各部局の報告と議案の審議が行われた。

1. 報告事項

報告1) 諸会議及び役員渉外行動報告

平野 諸会議及び役員渉外行動については、報告書のとおりである。

青柳 9月21日の東北地方会執行委員会へ平野会長、佐藤管理部長が出席しているが、どのようなことが話されていたのか。

佐藤 協会広報発送の件、全国学会開催準備の件、会員減少ならびに支部、地方会の会計の在り方な

どが話題となっていた。

(諸会議及び渉外行動報告書 P12 参照)

報告2) 本部発信文書一覧報告

平野 本部発信文書については、報告書のとおりである。

(本部発信文書報告書 P14 参照)

報告3) 協会ホームページ更新履歴

野山 協会ホームページ更新履歴一覧のとおりである。

(協会ホームページの更新履歴 P16 参照)

報告4) 第72回 日本理学療法学会の終了報告

杉浦 収支は、1,100,147円の残金で本部会計へ戻した。

青柳 参加者総数は、198名、内訳は会員194名/会員外4名(学生1名含む)。

(第72回 学会終了報告 P18 参照)

報告5) 第73回 日本理学療法学会の進捗状況

中川 後援名義の依頼で、兵庫県医師会からは非承認となった。

特別講演に「薬剤関連のテーマがある」ということが医師会から指摘され、そのことが非承認の理由のようだ。

学会事務局でアリストンホテル神戸に役員、代議員などを対象に宿泊用の部屋を確保している。また、学会開会式は簡素化して行う予定。

野山 アリストンホテル神戸の料金は一泊朝食付き11,850円となって

いるので、協会規定の上限の見直しが必要だ。今回、議題に上げている協会の「代議員旅費規程の改正」案について検討をお願いする。

(代議員旅費規程の改正 P17 参照)

報告 6) 令和 6 年度 運動療法機能訓練技能講習会の進捗状況

小 川 神奈川県支部において、7月13日より実施している。受講者数は18名(会員16名・会員外2名)となっている。来年2月修講予定で、現在継続中である。

報告 7) 第 61 回 東北理学療法学会の終了報告

寒河江 学会の参加者数は32名であった。収支については34,583円の残金を本部会計へ戻している。

報告 8) 第 47 回 理学療法指導者講習会の終了報告

小 川 今年度の理学療法指導者講習会は10月19日(土)・20日(日)の日程で大分コンパルホールで開催し、25名の受講者で予定とおり終了した。

青 柳 昨年度の「第46回理学療法指導者講習会」の伝達講習は、支部、地方会において受講者すべてが伝達講習を完了しているのか。

小 川 参加した受講者のすべてが、伝達講習を実施したかは把握できていない。

小路口 指導者講習会の受講者には、伝

達講習を行うことが参加の条件になっている。

今後は、伝達講習を実施した後に本部へ終了した旨の報告を上げるシステムを設けてはどうか。

小 川 本部に報告することを前向きに検討したい。

報告 9) 定期預金解約に係る経過報告

杉 浦 年度初めの事業資金として4月に定期預金から1,200万円を解約している。

その内、6月7日に600万円を定期預金に戻しているが、今後、全額を戻すのは難しいと考える。年度末決算では、400～500万円程度の赤字が見込まれる。

報告 10) 理療・広報の発行状況について

小路口 広報電子化の取り組みの中で感じたことは、データ送信に向けての準備に際し、組織として会員のアドレスを把握できていない状況がある。今後は入会届や技認認定登録更新届などの用紙にメールアドレス記入を必須として把握してはどうか。

丹 羽 入会届用紙にメールアドレスの記入欄があるので、必須とするよう検討する。

小路口 技認認定登録更新届の用紙についても、同様に書式を見直してはどうか。今後の協会学術活動を進める上でも会員のメールアドレスの把握は必要になると思う。

青 柳 会員からの申請や届用紙が多数あるため、会員のメールアドレスの記入を必須にするなど情報

収集について組織局と事務局で検討する。

野山 メールアドレスは個人情報なので、他には使用しない旨の明記が必要と思う。

小路口 理療209号は11月中旬に発行し、広報251号は12月中旬に発行予定である。

(事業中間報告 P8 参照)

報告11) 会員数の現状報告(退会者数・入会者数・その他)

丹羽 会員数の現状については、事業中間報告に記載しているとおりである。

(事業中間報告 P8 参照)

報告12) 会費納入状況と未納者対策の報告

杉浦 会費納入状況と未納者対策については、事業中間報告に記載しているとおりである。会費未納者に対しては督促状を発送する。

小川 地方会代表者会議の中で意見があったように、連絡が取れない未納者に対してはどのようにするのか。例えば、勤務先に督促状を出すのか。

青柳 会員への連絡については、会員管理で登録している連絡先へ督促状を発送している。

小川 連絡が取れない未納者に対しては、勤務先へ連絡する手段はどうか。

平野 これまでの会費未納者の中には職場を退職していたり、住所不明になっている場合も多々ある。

青柳 会費の請求を未納者の職場管理

者へ、直接連絡を取っても良いのか。

野山 会員の職場管理者へ会費未納の件で連絡を取るのには、個人情報にもなるので慎重に対応すべきではないか。

青柳 職場管理者へ直接連絡を取る意見もあるが、従来どおり、会費の請求は会員管理に登録している連絡先を対象に行うことで良いか。

小川 地方会、支部で未納者への請求ができない実態があるので、解決策として意見を述べたまで。

(事業中間報告 P8 参照)

報告13) あはき等法推進協議会報告

青柳 協議会では、あはき師の開業時の広告ガイドラインについて協議されており、今年か来年の早い時期に厚生労働省から広告制限が発出される予定。内容としては主に「現行の広告制限と無資格者対策」が講じられている。11月21日に行われる厚生労働省の説明会后に「広告ガイドライン」を理事会構成役員等に送信する(厚生労働省のホームページからダウンロード可)。

平野 呉竹医療専門学校で11月21日に行われる厚生労働省のレクチャーには、協会から3名出席する予定。

野山 あはき師免許の無資格者が違法広告を出して業としている。あはき師等法推進協議会では、厚生労働省へ無資格者対策の申し入れを毎年行っているのか。

青柳 今回の、「あはき師の広告制限

の対策」を講じることで、無資格者対策が前進することを期待している。

報告 14) あはき法改正検討委員会報告

青 柳 日本鍼灸師会が中心となり、あはき師法の第1条に「資格の役割条項」と、「医療・介護分野」の文言を入れるべく検討が行われている。

来年の早い時期に7団体合意のもと、国に要望する予定となっているが、結果予測としては難しいものがあると思う。

2. 議 題

議題 1) 令和6年度における事業中間報告

野 山 情報管理局で協会ホームページ等の保守管理を委託しているゼロワークス社について事業中間報告書に記載している。令和6年6月下旬、業務継続困難との報告がゼロワークス社から協会にあり、以後、7月1日事業停止状態になっている。今後、ゼロワークス社に変わる保守管理委託業者の選定を検討する。

小 川 認定訪問マッサージ師、認定機能訓練指導員の講習会が11月23日(土)、24日(日)東京医療福祉専門学校で開催される。学術局として出席する予定である。

小路口 組織局の中間発表に退会者数、会員数が示されているが、支部、地方会役員も協会組織全体の会員数の動向を確認できるようにすべきではないか。
組織会員クラウド上にそのようなページを設けてはどうか。

野 山 システム的には難しいと思う。

青 柳 大崎マンション再開発の進捗状況について伺いたい。

平 野 昨年から具体的な進展は何も出ていない。

青 柳 組織局で会員勧誘を目的に機能訓練指導員向けの講習会を昨年開催しているが、今年度の開催はどうなっているのか。

丹 羽 地方会、支部で機能訓練指導員向けの講習会を開催する場合には、組織局として支援したい。組織局の活動として今年度も大阪で機能訓練指導員向けの講習会を開催している。

青 柳 講習会開催の周知は組織局として行っているのか。

丹 羽 周知はしていない。

小路口 支部、地方会員の減少は続いている。単独での課題講習会開催なども講師料などで難しくなる場合もあるので、本部学術局が主催するオンライン講習会やオンデマンド講習会を企画してはどうか。

小 川 来年度の事業計画の中で検討してみる。

(令和6年度事業中間報告 P7 参照)

(全会一致で承認)

議題 2) 令和7年度 基本姿勢(案)

平 野 令和7年度の基本姿勢(案)を提案しているが、その他に青柳理事、小路口理事よりそれぞれの案が提出されているので審議を願う。

提案理由の趣旨説明後、議論が行われ、序文は平野(案)、本文は青柳(案)を基本に一部修

青 柳 正を加え、改めて令和7年度基本姿勢（案）として提案となる。主な修正点は、現行の6項目に分かれている基本姿勢を4項目に集約した。

厚生労働省への要望事項3.及び5.を、項目2.に集約し、今年度より介護報酬として認められた「身体障害者福祉制度等における保険の算定」を堅持する文言を2.項目に書き加え、項目のタイトルを「診療報酬及び介護報酬、身障福祉制度における取り組み」としている。また、項目3.技能認定登録制度における取り組みでは、協会の現状を踏まえ、技能認定登録者の登録制度の在り方について検討して行くことを明記した。

(令和7年度基本姿勢 P 10 参照)
(全会一致で承認)

議題3) 令和7年度 予算概要 (案)

杉 浦 令和7年度の予算は、会員850名で予算を組んでいるが、定期預金の「公益法人準備資金」より410万円を繰り入れて赤字予算となっている。

詳細については予算概要(案)のとおりである。

青 柳 新年度の予算において、公益法人準備資金より410万円を繰り入れる初めての赤字予算が示された。今後も同様に数百万円以上の繰り入れを毎年行うとなれば、数年で準備資金がなくなる事態になる。協会の財産である事務所の売却等について今後の計画はあるのか。

平 野 来年度の代議員総会には、重要財産の処分について示す予定でいる。

(令和7年度予算概要 P11 参照)
(全会一致で承認)

議題4) 代議員旅費規程の改正 (案)

杉 浦 宿泊費の上昇傾向が続いている。来年の全国学会開催地の近畿会からも改正を求める意見が出ているので、規程の改正を提案する。

(代議員旅費規程の改正 P17 参照)
(全会一致で承認)

議題5) 日本理学療法学会規程の改正 (案)

小 川 協会の現状に則した規程に改めるので、規程の改正を提案する。

(日本理学療法学会規程の改正 P17 参照)
(全会一致で承認)

議題6) 第46回 中国四国理学療法学会開催の承認 (案)

平 野 四国地方会より令和7年11月に「第46回中国四国理学療法学会」を松山市で開催する件について提案されている。

青 柳 来年度の地方学会交付金の予算はいくらか。

杉 浦 地方学会の来年度の予算は40万円を計上している。

野 山 四国地方会より来年度の地方学会開催計画が示されているが、東北地方会で開催する「第74回学会」以降の全国学会開催地について計画されているのか。

平 野 東北地方会以降の全国学会の開催地は白紙状態だ。

野 山 地方学会開催の計画が本部に示

された段階で、全国学会を担当する件についても本部として、「全国学会の担当」を依頼すべきではないか。全国学会開催の負担は72回学会で分かるように1日学会になって負担は軽減されている。地方学会を計画する地方会に対しては、全国学会の担当も十分にできると思うので依頼すべきではないか。

平 野 これまでも地方会には依頼してきているが、今後も更に取り組む。

(全会一致で承認)

議題7) その他

平 野 全国学会を担当する今後の地方会について意見を求める。

野 山 地方会から地方学会の申請があった場合には、本部学術局として全国学会の開催を担当することも視野に入れた働きかけを地方会へすべきではないか。

平 野 学術局だけではなく、理事全員

がそれぞれの地方会執行委員長へ全国学会の輪番制での担当を説いて働きかけを行って欲しい。

次に、基本姿勢の周知方法について意見を求める。

青 柳 協会の基本姿勢を含め、協会組織の今後の在り方について、会員への周知が今後重要となる。

野 山 協会の今後の行方を早期に示すことが必要であり、特に技能認定登録制度については、将来像(ビジョン)を示すべきではないか。

平 野 「技能認定登録制度」については、今年度中に厚生労働省と今後の扱いについて相談する予定でいる。

理事会では、多くの質問や意見が出されましたが、広報紙面の都合により、審議の過程を妨げない範囲で割愛させていただきました。

以 上

令和6年度 事業中間報告

1. 事務局

1) 会議の企画、準備、開催、議事録の作成

- (1)第65回 定時代議員総会
5月18日(土)東京都 日本教育会館
- (2)第65回 定時代議員総会報告会
5月19日(日)東京都 日本教育会館
- (3)理事会
第1回 6月2日(日)オンライン
第2回 11月10日(日)オンライン
- (4)臨時理事会
5月2日(木)オンライン 令和5年度事業及び決算報告
5月18日(土)日本教育会館 代表理事等の選任

(5)地方会代表者会議

- 第1回 6月2日(日) オンライン
- 第2回 11月10日(日) オンライン

2) 事務処理及び管理

- (1)葵税理士法人との決算処理作業
- (2)法人業務及び会計に係る報告書作成、並びに内閣府への提出
- (3)各支部から提出された令和5年度事業報告、決算報告等の整理、管理
- (4)文書送信(理事会構成員・地方会執行委員長・支部長等)

3) 大崎駅周辺の再開発に伴うマンション管理会議

- (1)大崎西口駅前地区市街地再開発準備組合
令和6年度通常総会7月7日(日) 対面
人事労務会館3階大会議室
- (2)ニュー大崎管理組合 第16回 定期総会
大崎ビル55号室 11月16日(土) 対面
- (3)ニュー大崎管理組合理事会 ツナビル
 - ①第172回 4月9日(火) 対面
 - ②第173回 6月11日(火) 対面
 - ③第174回 7月9日(火) 対面
 - ④第175回 9月10日(火) 対面
 - ⑤第176回 10月15日(火) 対面
 - ⑥第177回 10月29日(火) 対面

4) 他団体関連業務

- (1)東洋療法研修試験財団 令和6年度定時評議員会 6月19日(水) 財団
東洋療法研修試験財団 生涯研修検討委

員会 11月28日(木) 財団

(2)あはき等法推進協議会

- 第1回 5月17日(金) オンライン
- 第2回 7月2日(火) オンライン
- 第3回 9月3日(火) オンライン
- 第4回 10月28日(月) オンライン

(3)あはき法改正検討委員会

- 第1回 6月20日(木) オンライン
- 第2回 8月6日(火) オンライン
- 第3回 8月29日(木) オンライン
- 第4回 9月12日(木) オンライン
- 第5回 9月26日(木) オンライン
- 第6回 10月10日(木) オンライン
- 第7回 10月24日(木) オンライン

(4)杉山検校遺徳顕彰会 令和6年度定時評議員会

- 6月23日(日) 杉山和一記念館

2. 情報管理局

1) 協会ホームページ関連業務

- (1)新着情報の原稿作成、掲載
- (2)各ページの内容更新・追加、デザイン変更
- (3)各部局とホームページへ掲載する原稿の確認
- (4)委託業者との連絡、調整

2) 財務クラウド等関連業務

- (1)更新作業
 - ①年度末決算期更新
 - ②四半期決算期更新
 - ③登録更新
- (2)各部局、会員からの問い合わせへの対応
- (3)委託業者との連絡、調整

3) その他

- (1)各オンライン会議(Zoom ミーティング)の設定
 - ①臨時理事会(5月2日)
 - ②第1回 地方会代表者会議(6月2日)
 - ③第1回 理事会(6月2日)
 - ④第2回 地方会代表者会議(11月10日)
 - ⑤第2回 理事会(11月10日)
- (2)動画サイト(Vimeo)の運用管理
- (3)ゼロワークス社(協会ホームページ等保守管理委託業者)への対応

- ①ゼロワークス社が業務継続困難との報告(令和6年6月下旬)
- ②ゼロワークス社の事業停止(令和6年7月1日)
- ③関連の年金事務所および破産管財人からの問い合わせへの対応
- ④今後の保守管理委託業者の検討(選定中)

3. 組織局

- 1) 会員登録事項変更届の受理及び処理
- 2) 組織管理クラウド情報の更新による会員の実態把握及び報告
- 3) 各支部における会員名簿確認後の組織管理クラウド情報の更新処理
- 4) 令和6年度会員名簿・役員名簿の作成、発送
- 5) 組織管理クラウド情報の更新による会員の実態把握
- 6) 令和6年12月1日現在の会員数

正会員	休会会員	会友会員	名誉会員	合計
923	5	4	4	936

入会者14名 退会者8名
登録更新者23名 休会者5名

4. 保険局

- 1) 令和6年度 診療報酬・介護報酬改定の情報収集及び会員への周知
疑義については、厚生労働省老健局老人保険課へ照会
- 2) 令和6年度 診療報酬・介護報酬に係る講習会への講師派遣
神奈川県支部へ4月28日(日)
新潟県支部へ7月7日(日)
千葉県支部へ7月28日(日)
- 3) 診療報酬及び介護報酬の問い合わせ対応

5. 広報局

- 1) 広報内容の検討、原稿の依頼、収集、校正作業
- 2) 広報発行方法の郵送から配信への変更作業の取り組み
(1)広報PDF版受信可能会員の実態調査の実施
(2)広報PDF版受信会員の本部発行デー

ターの変更作業
(印字会員886名中、10月現在の配信会員226名/郵送会員660名)

3) 発行状況

- (1)広報250号7月20日発行930部印刷製本(会員900部/本部30部)
- (2)広報251号12月20日発行予定
- 4) 広報発行に係るデイジー横浜への対応

6. 財務局

- 1) 会費納入状況(令和6年10月28日現在)
令和6年度 未納者 145名
令和5年度 未納者 26名
会員数(4月1日現在) 955名
- 2) 財務報告
(1)今年度も四半期ごとの決算業務を実施
(2)各地方会・支部、各地方学会、全国学会への交付を完了
(3)会費未納者への請求(地方会執行委員長・支部長を介して督促実施)
(4)個人宛の督促状を12月中旬に発送予定

7. 学術局

- 1) 全般
第72回 日本理学療法学会開催
会期:令和6年5月19日(日)
会場:東京都 日本教育会館
- 2) 教育部
第47回 理学療法指導者講習会開催
日程:令和6年10月19日(土)・20日(日)
場所:大分コンパルホール
受講者数:25名

8. 理療出版部

- 1) 理療編集出版内容の検討、原稿依頼・収集、校正作業
- 2) 発行状況
(1)Vol.53 No.4(208号/5月)1,200部印刷製本(会員/本部1,000部)
(2)Vol.54 No.1(209号/11月)1,120部印刷製本予定(会員/本部920部)
(3)あはき師、柔整師養成校170校、他団体等29件へ謹呈
(4)理療8月号は休刊

9. 特殊出版部
- 1) 理療 208 号「CD 版」93 枚作成(5 月発行会員 34 名 / 寄贈分 59 枚)
 - 2) 理療 209 号「CD 版」11 月発行予定
 - 4) 理療 208 号「デイジー図書」久喜図書館所蔵
 - 5) 理療 209 号「デイジー図書」久喜図書館所蔵予定
 - 6) 理療「CD 版」「デイジー図書」8 月発行は休刊
 - 7) 広報 250 号「CD 版」(7 月発行会員 21 名)
 - 8) 広報 250 号「デイジー版」(8 月発行会員 18 名)
 - 9) 広報 251 号「CD 版」「デイジー版」12 月下旬発行予定
10. 運動療法機能訓練技能講習会委員会
 受講料を(会員 20 万円・会員外 35 万円)値上げして、神奈川県支部において7月13日より実施中
 受講者数：18 名(会員 16 名・会員外 2 名)
11. 技能認定登録制度委員会
- 1) 令和 5 年度単位取得講習会報告書の審査
- 確認及び承認単位通知書の発行
- 2) 技能認定登録及び技能認定登録更新等の遂行
 - 3) 学会、講習会等の開催案内のホームページ掲載
12. 表彰選考委員会
- 1) 叙勲褒章に係る関係官庁との折衝
 - 2) その他
13. 第 72 回 日本理学療法学会 関連事業
- 1) 準備委員会の開催
 - (1) 4 月 3 日(水)・5 月 8 日(水)・6 月 19 日(水) オンライン
 - (2) 4 月 14 日(日) 日本教育会館・5 月 14 日(火) 協会事務所 対面
 - 2) 後援名義使用許可申請及び開催終了報告
 - 3) 特別講演及び市民公開講座講師との打ち合わせ
 - 4) 参加登録及び演題発表登録
 - 5) 会場及び外注業者との打ち合わせ
 - 6) 学会当日の準備、運営
- 以上

広報の発行方法について

平素より協会事業活動の推進にご尽力いただき心より御礼を申し上げます。

さて、ご承知のとおり協会運営につきましては、経費節減を念頭に取り組んでおり、広報局においても広報発行方法を現行の「郵送」から添付メールによる広報 PDF 版の「配信」へ移行を進めております。

地方会、支部におけるメール受信者の実態調査により、261 名の会員が郵送から添付メールによる「広報配信」に移行し、郵送経費の節減に繋がっております。

今回、配信された広報 PDF 版は、紙の広報と違い文字の拡大もできますので、読みやすく感じていることと思います。また、「広報 PDF ファイル」は、協会ホームページからもダウンロードできますので、郵送の会員は一度確認して見てください。

今後も、現行の「郵送」から広報 PDF 版の「配信」に移行する会員が増えることを期待しておりますので、広報の郵送を止め、添付メールによる「配信」に変更する会員は、支部長、または広報局へご連絡ください。

広報局 小路口 憲

令和7年度 基本姿勢

第65回 定時代議員総会で決定された事業の推進状況と、各地方会及び支部から寄せられた意見、要望を踏まえ、理事会において審議し、令和7年度基本姿勢を作成するものである。

会員数減少に伴う会費収入の減少が見込まれるため、各事業の見直しや縮小を図りながら各事業の立案、実施にあたることとする。

1. 学識、技術の向上における取り組み

理学療法従事者の学識、技術を向上させる目的で、日本理学療法学会及び運動療法機能訓練技能講習会並びに、理学療法指導者講習会等を協会の実情に合わせ主催するとともに、学術誌の発行、技能認定登録制度に伴う単位取得講習会の充実、併せて研究活動の指導を推進する。

2. 診療報酬及び介護報酬、身体障害者福祉制度における取り組み

技能認定登録者及びあん摩マッサージ指圧師はり師きゅう師、柔道整復師等の診療報酬並びに介護報酬、身体障害者福祉制度

等における保険の算定を堅持するとともに、算定上の課題と、医療法上の位置づけを併せ、厚生労働省等へ要望活動を継続する。

3. 技能認定登録制度における取り組み

技能認定登録制度は、平成15年度に発足し、平成18年度より順次診療報酬、介護報酬の算定要員となり、その役割を果たすと共に各方面より一定の評価を受けてきた。

しかし、組織及び財政基盤の低下が進むなか、技能認定登録者の実態を踏まえ、制度の在り方について検討する。

4. 組織強化についての取り組み

公益社団法人としての事業を継続するため、組織の充実と財政基盤の安定を図る。

組織の拡充については、あん摩マッサージ指圧師、柔道整復師の養成校に対し、卒業生の本協会への入会を呼びかける他、介護保険分野のリハビリテーション及び機能訓練従事者に対しても、積極的に入会を勧める。

令和7年度 予算概要

収 入	令和7年度	令和6年度	令和5年度	摘 要
	(単位万円)	(単位万円)	(単位万円)	
繰入金	410	0	0	公益法人準備資金より繰り入れ
会費等収入	1,895	2,570	2,670	850名×22,000円+過年度会費等
全国学会	160	160	200	参加費、協賛金、広告料
地方学会	15	10	70	参加費、協賛金
技能講習会	300	500	500	受講料×受講者15名
技能認定登録	150	200	200	更新予定者300名×5,000円
伝達講習会	150	100	120	参加人数500名×受講料3,000円
課題講習会	255	300	300	参加人数850名×受講料3,000円
合 計	3,335	3,840	4,060	

支 出	令和7年度	令和6年度	令和5年度	適 要
	(単位万円)	(単位万円)	(単位万円)	
本部運営費	1,000	1,000	1,100	旅費交通費、給料、雑支出等
支部運営費	435	500	550	旅費交通費、通信費、消耗品費、印刷費等
全国学会	450	480	450	旅費交通費、会場費、諸謝金、印刷費等
地方学会	40	50	150	旅費交通費、通信費、諸謝金、印刷費等
技能講習会	300	500	500	旅費交通費、会場費、諸謝金、印刷費等
技能認定登録	150	200	200	通信費、消耗品費、印刷費等
指導者講習会	150	170	170	旅費交通費、会場費、諸謝金、印刷費等
伝達講習会	100	100	100	旅費交通費、会場費、消耗品費、通信費等
課題講習会	300	300	300	旅費交通費、会場費、諸謝金、印刷費等
理 療	300	400	400	諸謝金、印刷費等
広 報	110	140	140	印刷費等
合 計	3,335	3,840	4,060	

※地方会へ、一律20万円+会員数×3,000円で、配分する
 会員1人当たり(全体平均)、435万円÷850名≒5,000円(概ね)

諸会議及び役員渉外行動報告

月日	用務地	用務内容
7/15	都シティー大阪天王寺	伊藤久夫 前全鍼師会会長お別れ会(平野)
17	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・三浦・杉浦)
23	帝国ホテル	日本医師会 新役員披露パーティー(平野)
28	筑波大学附属 視覚特別支援学校	第3回 あん摩マッサージ指圧コンテスト2024説明会 (平野・小川・佐藤・小田木)
8/1	協会事務所	会員管理・会員名簿修正作業(平野・丹羽)
6	オンラインZoom	第2回 あはき法改正のための委員会(平野・青柳)
8	協会事務所	会員管理・JCB管理に係る協議(平野・佐藤・その他)
9	協会事務所	令和7年春の叙勲申請書類作成(柳澤・倉石・平野)
21	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・三浦・杉浦)
25	呉竹医療専門学校	第3回 あん摩マッサージ指圧コンテスト2024(平野・小川・佐藤・小田木)
29	オンラインZoom	第3回 あはき法改正のための委員会(平野・青柳)
9/3	オンラインZoom	第3回 あはき等法推進協議会(平野・青柳)
10	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会(平野)
12	オンラインZoom	第4回 あはき法改正のための委員会(平野・青柳)
15	協会事務所	決算ファイル発送準備作業(平野・三浦)
18	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・杉浦)
19	協会事務所	決算ファイル発送 47通(平野)
21	グランパークホテル エクセル福島恵比寿	東北地方会執行委員会(平野・佐藤)
22	福島市アクティブシニア センター	第61回 東北理学療法学会 第62回 東北理学療法大会(平野)
22	協会事務所	学術局業務の文書作成および発送(小川)
26	オンラインZoom	第5回 あはき法改正のための委員会(平野・青柳)
10/2	日本教育会館	第34回 国民の健康会議(平野)
10	オンラインZoom	第6回 あはき法改正のための委員会(平野・青柳)
15	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会(平野)
16	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・杉浦)
19・20	大分コンパルホール	第47回 理学療法指導者講習会(平野・小川)
24	オンラインZoom	第7回 あはき法改正のための委員会(平野・青柳)
25	オンラインZoom	令和7年度 基本姿勢及び予算概要の検討(平野・小川・青柳・杉浦)
28	オンラインZoom	第4回 あはき等法推進協議会(平野・青柳)
29	協会事務所	会員管理に係る事務処理(平野・丹羽)

29	ツナビル	ニュー大崎管理組合理事会(平野)
30	協会事務所	第2回 理事会討議資料発送準備(平野・青柳・杉浦)
11/10	オンラインZoom	第2回 地方会代表者会議及び第2回理事会(会議構成員)
13	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・杉浦)
14	オンラインZoom	あはき法改正のための委員会(平野・青柳)
16	ニュー大崎ビル5F	ニュー大崎管理組合定期総会及び理事会(平野)
17	川越プリンスホテル	国民のための東洋医学を推進する埼玉の集い(平野)
18	オンラインZoom	立法に関するレクチャー 前田克彦教授(平野)
21	呉竹医療専門学校	あはき等ガイドラインのためのレクチャー(平野・青柳・杉浦)
22	日本医師会館	国民の医療を守るための総決起大会(平野・小川)
24	オンラインZoom	法改正経験者の立場から「あはき法改正に伴うレクチャー」(平野・青柳)
27	オンラインZoom	あはき法改正のための委員会(平野・青柳)
28	東洋療法研修試験財団	生涯研修検討委員会(平野)
12/4	協会事務所	葵税理士法人財務処理(平野・杉浦)

本部発信文書一覧

月日	文書番号	宛 先	文 書 名
7/9	技能認定	埼玉県支部	技能認定登録更新1名
9	返信封筒	大崎郵便局	ゆうメール運賃更新について
10	31	厚生労働事務次官	第72回 日本理学療法学会 終了報告書の提出について
10	32	日本医師会・他関係医学会	第72回 日本理学療法学会 終了報告書の提出について
10	返信用書類	日本年金機構	(株)ゼロワークスに係る回答書
15	事務連絡	倉石表彰選考委員	叙勲褒章に係る推薦文書
16	33	デイジー横浜	広報・連盟報のデイジー版・複製版製作に係る業務委託契約書の送付について
16	事務連絡	総務省統計局	経済センサス・基礎調査の回答
27	事務連絡	茨城県支部長	広報250号の再送
27	会費領収書	いずみ野整形外科	令和6年度 会費領収書
27	技能認定	大阪府支部	技能認定登録更新1名
31	事務連絡	倉石表彰選考委員	叙勲申請に係る書類
8/5	34	東京都千代田区長	第72回 日本理学療法学会への後援名義使用報告書
5	35	東京都知事	第72回 日本理学療法学会への後援名義使用報告書
10	36	厚生労働省医政局医事課	令和7年春の叙勲及び褒章候補者の推薦について(回答)
17	会費領収書	愛知県支部	令和6年度 会費領収書
21	37	該当支部	技能認定登録制度に係る登録の更新について
22	技能認定	東京都支部	技能認定登録更新1名
9/4	事務連絡	国際医学情報センター	第72回 日本理学療法学会 プログラム抄録集
4	会費領収書	岐阜県支部	技能認定登録更新1名
5	38	該当支部	第47回 理学療法指導者講習会 出張許可のお願い
6	会費領収書	埼玉県支部	令和6年度 会費領収書
14	技能認定	鹿児島県支部	技能認定登録更新1名
18	技能認定	奈良県支部	技能認定登録更新3名
18	会費領収書	千葉県支部	令和6年度 会費領収証
18	事務連絡	北陸地方会財務担当者	令和6年度 第2四半期会計ファイル
19	39	地方会・支部会計担当者	令和6年度 第2四半期会計ファイルの送付について
20	事務連絡	三浦財務局長	第47回 理学療法指導者講習会 旅費申請書一覧

21	40	該当支部長	令和5年度 「承認単位通知書」の送付について
24	事務連絡	大内田義己監事	協会バッジの送付
25	41	厚生労働事務次官	第73回 日本理学療法学会後援名義使用について(お願い)
25	事務連絡	小路口理事	第72回 日本理学療法学会DVD
26	42	日本医師会・他関係医学会	第73回 日本理学療法学会後援名義使用について(お願い)
10/1	事務連絡	地方会執行委員長 各位	令和6年度 第2回地方会代表者会議 開催通知
1	43	理事会構成員 各位	令和6年度 第2回理事会の開催について(通知)
10	44	支部長 各位	技能認定登録制度に係る登録の更新について
22	45	山下徳次郎先生	第47回 理学療法指導者講習会ご講義のお礼
25	46	石黒圭応先生	第31回 認定試験問題作成のお願い
31	47	理事会構成員 各位	令和6年度 第2回理事会討議資料の送付について
11/1	48	日本臨床整形外科学会理事長 長谷川利雄 様	会員構成に係るお伺いへの回答
6	事務連絡	東武宇都宮百貨店 外商	お歳暮の注文について
6	技能認定	兵庫県支部	技能認定登録更新1名
6	技能認定	埼玉県支部	技能認定登録更新1名
10	技能認定	神奈川県支部	技能認定登録1名

協会ホームページ更新履歴

月日	種別	ホームページ掲載内容
4/2	更新	年間事業計画
6	追加	広報249号
6	新着	広報249号の誤植について(訂正)
7	更新	各支部リンク・その他(厚生労働省 令和6年度改定について)
7	追加	地方学会・課題講習会のご案内(中部地方会 / 新潟県支部)
10	追加	地方学会・課題講習会のご案内(愛媛県支部)
19	新着	業務上の法令遵守について(注意喚起)
5/18	追加	地方学会・課題講習会のご案内(鹿児島県 / 茨城県支部)
20	新着	【令和6年度 運動療法機能訓練技能講習会】のご案内
20	更新	令和6年度 運動療法機能訓練技能講習会 開催情報
25	新着	【令和6年度 第47回 理学療法指導者講習会】のご案内
25	更新	理学療法指導者講習会のご案内
27	追加	理療第208号 近刊案内
28	更新	役員名簿
30	追加	地方学会・課題講習会のご案内(埼玉県 / 広島県支部)
30	新着	第72回 日本理学療法学会 終了について(ご報告とお礼)
6/11	追加	地方学会・課題講習会のご案内(栃木県 / 新潟県支部)
14	追加	地方学会・課題講習会のご案内(神奈川県支部)
15	更新	技能認定登録者名簿
16	追加	地方学会・課題講習会のご案内(近畿地方会)
20	追加	地方学会・課題講習会のご案内(岩手・秋田県 / 愛知・三重県支部)
24	追加	地方学会・課題講習会のご案内(神奈川県支部)
7/6	新着	【第73回 日本理学療法学会】のご案内
7	更新	情報公開資料
13	更新	学術関係規程
20	追加	地方学会・課題講習会のご案内(鹿児島県 / 北海道地方会)
23	更新	支部連絡先一覧
28	追加	広報250号
9/2	新着	令和6年度 認定訪問マッサージ師/認定機能訓練指導員 講習会のご案内
12	追加	地方学会・課題講習会のご案内(愛媛県支部)
10/12	追加	地方学会・課題講習会のご案内(北海道地方会)
23	追加	地方学会・課題講習会のご案内(新潟県 / 岐阜県支部)
27	追加	地方学会・課題講習会のご案内(茨城県 / 神奈川県支部)

代議員旅費規程の改正

改正理由：昨今の物価上昇による宿泊費の高騰に対処するため改正する。

(改正前)

第7条 宿泊費については、原則として一泊 10,000 円以内で、次のとおりの基準で計算する。

(改正後)

第7条 宿泊費については、原則として一泊 12,000 円以内で、次のとおりの基準で計算する。

日本理学療法学会規程の改正

改正理由：本協会の現状と本年、1日学会を開催した経緯を踏まえ、開催日数にこだわらないこととする。

(改正前)

第4条 この学会は毎年5月に2日間にわたり開催する。

(改正後)

第4条 この学会は毎年5月に開催する。

※各規程の詳細は、協会ホームページの「会員向け」より閲覧できますので、是非ご確認ください。

第72回 日本理学療法学会 終了報告

参加者	会員：194名 会員外：4名 参加者総数：198名
学会内容	開催日：令和6年5月19日(日) 開催地：東京都千代田区 日本教育会館 演題発表：15題 特別講演：1題 市民公開講座：1題 後援団体：厚生労働省・東京都・千代田区・日本医師会・日本病院会 日本整形外科学会・日本臨床整形外科学会・日本リハビリテーション医学会・日本運動器科学会・東洋療法研修試験財団・日本理学療法士協会・日本作業療法士協会・日本言語聴覚士協会

第72回 日本理学療法学会 収支決算報告書

学会事業収入

項 目	金 額	備 考
交付金収入	3,000,000	協会本部支出
学会参加費収入	1,620,000	会員194名1,572,000・会員外4名48,000
協賛金収入	20,000	医院・施設・業者
広告料収入	50,000	抄録広告掲載
その他収入	0	
収入合計	4,690,000	

学会事業支出

項 目	金 額	備 考
旅費交通費	445,180	会議その他移動交通費・食費等含む
画像編集費	181,500	録画編集業者支払い
印刷製本費	1,217,040	広報特別号・抄録作製、発送費含む
賃借料	852,478	学会会場・事務局控え室賃料、設備費
諸謝金支出	445,483	特別講演、市民公開講座講師料・源泉徴収税含む
消耗品・雑支出	448,172	看板・式典飾り・記念品・弁当・通信費等
支出合計	3,589,853	
残 金	1,100,147	

第73回 日本理学療法学会 開催案内

- テーマ : 「医療・介護の原点から かがやく未来をみすえて」
～我々が取り組める技術とは～
- 会 期 : 令和7年5月16日(金) 第66回 定時代議員総会
令和7年5月17日(土)・18日(日) 第73回 日本理学療法学会
- 会 場 : 神戸商工会議所 3階 神商ホール・会議室
- 所 在 地 : 兵庫県神戸市中央区港島中町 6-1
- 開催形式 : 会場参加・オンデマンド視聴(8月予定)
- 参加費 : 会 員 会場参加(事前登録) 6,000円・(当日) 8,000円
会員外 15,000円 ※会場参加の全員、後日のオンデマンドも視聴可
会 員 オンデマンド限定参加 10,000円・学 生 3,000円
市民公開講座(無料)
- 申込期間 : 令和7年4月1日(火)～4月30日(水) まで(予定)
(学会参加登録はオンデマンドのみの方も同じ期間です。)

学会内容 : <特別講演>

(Ⅰ) テーマ「脊椎疾患の臨床症状」

講 師 神戸大学大学院医学研究科外科系講座

整形外科学分野脊椎外科学部門

特命准教授 ^{かく たに けんいちろう} 角谷 賢一郎 先生

(Ⅱ) テーマ「骨粗鬆症の薬物療法 - 各薬剤の特徴と注意点 -」

講 師 神戸薬科大学エクステンションセンター

講師 ^{かま お} 鎌尾 まや 先生

(Ⅲ) テーマ「難治骨折診療から学んだ骨折治療の極意」

講 師 神戸大学医学部附属病院 整形外科

助教 ^{おお え けい すけ} 大江 啓介 先生

: <市民公開講座>

テーマ「認知症の真の共生と予防を目指して」

講 師 神戸大学大学院保健学研究科保健学専攻

教授 ^{こ わ ひさと} 古和 久朋 先生

<会員発表> 30題 (予定)

技能認定登録制度 : 取得単位 学会参加:10単位・演題発表:5単位

主 催 : 公益社団法人 全国病院理学療法協会

担 当 : 近畿地方会

学 会 長 町井 修治 小林診療所

準備委員長 吉岡 豊英 太田外科診療所

事務局長 上田 亮 アップデイサービス瑞ヶ丘

<学会事務局> 〒664-0852 兵庫県伊丹市南本町4丁目2-10

医療法人 社団いずみ会 太田外科診療所 物療室

吉岡 豊英 (準備委員長)

TEL:072-772-1398 / FAX:072-784-1884 / E-mail : gakkai.kinki.zenbyouri@outlook.jp

「広報 PDF ファイル」支部別受信者集計表

11月28日(木)現在

合計数	NO.	支 部 名	会員数	メール受信可能	不可	広報PDFへ変更する会員
北海道 37	1	北海道	37	30	7	30
東北 51	2	青 森	3	3	0	0
	3	岩手・秋田	16	11	5	11
	4	宮 城	11	8	3	
	5	山 形	5	3	2	
	6	福 島	16	13	3	13
関東 389	7	茨 城	32	23	9	23
	8	栃 木	17		0	14
	9	埼 玉	96		0	
	10	千 葉	46	36	10	36
	11	東 京	85	40	44	
	12	神奈川	68	33	34	
	13	新 潟	11	8	3	8
	14	長 野	17	13	4	13
	15	静 岡	17		0	
北陸 33	16	富 山	11		0	
	17	石 川	16		0	6
	18	福 井	6		0	
中部 145	19	岐 阜	38	24	4	24
	20	愛知・三重	107	35	3	31
近畿 171	21	京都・滋賀	33	9	0	
	22	大 阪	102	6	0	
	23	兵 庫	16	14	2	8
	24	奈 良	8	8	0	7
	25	和歌山	12	11	1	8
中国 27	26	鳥 取	1	1	0	1
	27	鳥 根	1	0	1	0
	28	広 島	25	3	7	3
四国 36	29	徳 島	4	3	1	
	30	香 川	9	9		9
	31	愛 媛	23	21	2	
九州 42	32	福 岡	3	3	0	
	33	長崎・佐賀	3	3	0	3
	34	大 分	6	4	2	
	35	鹿児島	29	13	17	13
	36	沖 縄	1		0	
会員合計数			931	388	164	261

*会員数は2024年11月25日現在。

*広島県支部合計数は、岡山県1名を含む。

*合計数は会員、会友会員、休会会員、名誉会員を含む。

* 931名-39名(ダイジー、CD音声会員) = 892名(印字会員)

令和6年度 協会主要会議及び年度末業務予定表

	代議員総会 理事会・監査会等	広報・理療発行	学会・記念式典等
令和6年 12月	年末年始のため事務所休み 12月29日(日)～1月6日(月) 年末年始 緊急連絡先 平野 会長 090-7423-1764 小川副会長 080-1626-9580 青柳副会長 090-2492-3317	広報251号	
令和7年 1月	1月7日(火)より事務所業務開始 支部・地方会 令和7年度 予算書提出 提出期限:1月31日(金) 協会事務所必着		令和6年度 運動療法機能訓練 技能講習会 閉講式 神奈川県支部 伊勢原シティープラザ 12日(日)
2月		理療210号	第31回 運動療法機能訓練技能 講習会 認定試験 神奈川県支部 9日(日)
3月	地方会代表者会議 2日(日) 第3回 理事会 2日(日) 第66回 定時代議員総会議案審議	広報252号 第66回定時代議 員総会議案書 (下旬)	
4月	支部・地方会 令和6年度 決算書提出 期限:4月10日(木) 協会事務所必着 諸会議出席者名簿の提出(支部⇒本部) 年度末監査 29日(火・祝)		
5月	臨時理事会 2日(金) 代議員へ決算書類等を発送 7日(水) 学会・諸会議に向けての作業(上旬) 第66回 定時代議員総会 16日(金) 神戸商工会議所 3階 会議室	理療211号	第73回 日本理学療法学会 17日(土)・18日(日) 神戸商工会議所 3階 神商ホール

備考

1. 葵税理士法人による財務処理作業は、協会事務所で毎月1回実施
2. 理事会・地方会代表者会議は、オンラインで実施
3. 支部長・地方会執行委員長へのお願ひ
 支部・地方会の令和7年度予算書案は1月31日(金)まで。令和6年度決算書については
 4月10日(木)までに協会事務所へ提出してください。

発行人 公益社団法人 全国病院理学療法協会
〒141-0032 東京都品川区大崎3-6-21
ニュー大崎 318号

TEL 03(3494)1948

FAX 03(3494)1950

e-mail yakuaa@mars.plala.or.jp

発行責任者 平野 五十男

編集責任者 小路口 憲

ken218@lapis.plala.or.jp